



特集²

岩手県共同募金会 平成27年度事業計画・予算

「アクションプランいわて」を着実に推進

新しい共同募金会を目指して募金の増額に取り組む「いづみの町を良くする活動」を積極的に支援します。

地域福祉の推進を重視したまちづくり活動を支援

本県の地域福祉を財源面から支える共同募金を目指す5か年計画として「赤い羽根アクションプランいわて」（平成26年度～30年度）を策定し、初年度となる昨年度は地域福祉の推進を重視した募金の増額など、さまざまな事業に取り組みました。

本会及び市町村共同募金委員会（市町村共募）は、なお一層「アクションプラン」の基本目標を達成するために、本年度は重点事業に「アクションプランいわて2年目の着実な推進」「被災地の復興支援と大規模災害への対応」を掲げています。

計画では地域の生活課題に取り組む市民・団体への積極的な支援、新たな募金手法の開拓・推進など、9項目に取組むこととしています。各種事業の推進に当たっては市民・企業・団体等の参加を得て、幅広く展開していきます。

地域福祉の推進を重視した新しい共同募金を目指すには、県民の皆様をはじめ、関係機関・団体等多くの方々のお力が必要です。どうか共同募金へのご理解とご支援をよろしく願います。

平成27年度 資金収支予算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位：千円)

	科 目	今年度 当初予算額	前年度 当初予算額	増 減
収入の部	共同募金収入	377,218	360,458	16,760
	共同募金以外寄付金収入	2	1	1
	災害義援金収入	2,266	300	1,966
	事業収入・受取利息収入・その他の収入	18,351	65,288	△46,937
	前期末支払資金残高	89,551	82,779	6,772
	収入計	487,388	508,826	△21,438
支出の部	人件費・事務費・事業費・分担金支出	65,338	69,432	△4,094
	共同募金配分金支出	303,215	284,900	18,315
	共同募金以外寄付金配分金支出	2	1	1
	災害義援金支出	2,266	300	1,966
	災害等準備金配分金支出	3,000	3,000	0
	災害ボランティア・NPO活動配分金支出	16,280	60,000	△43,720
	固定資産取得支出	120	0	△120
	その他の活動による支出	200	0	△200
	予備費支出	365	600	235
	支出計	390,786	418,233	△27,447
	当期末支払資金残高	96,602	90,593	6,009

「赤い羽根アクションプランいわて」
2年目の着実な推進

被災地の復興支援と
大規模災害への対応

平成27年度 重点事項

(1) 地域全体の生活課題に取り組む市民・団体への積極的な支援

■誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、住民全体のまちづくりの活動を支援する。

(2) 新たな募金手法を積極的に取入れた募金の増額

■企業、NPO法人、スポーツチームなどの新たなパートナーと協働した新しい募金手法を取入れ、募金の増額に取り組む。

(3) 組織の透明性を確保し、組織運営の強化を推進

■募金の使途について、寄付者、住民にわかりやすく広報し、透明性のある組織運営を進める。

(4) 現行事業の見直しを積極的に推進

■本会及び市町村共募は、社会福祉協議会とともに情報共有や課題解決策の検討を行い、住民による地域福祉活動の支援を進める。

(1) 東日本大震災被災者への支援

■被災された住民自ら行う支え合い活動が、主体性・自主性の確保の意味からも重要な活動であることから、本年度も引き続き「住民支え合い活動助成」を実施する。

(2) 大規模災害への対応、支援

■県内でも、近年大規模な災害が発生しており、災害等準備金の速やかな助成が期待されている。災害に備え、災害等準備金を計画的に積み立てるとともに、市町村共募、関係機関との連携強化を図る。

写真は平成26年度の事業から

「赤い羽根アクションプランいわて」による事業

「赤い羽根アクションプランいわて」 2年目の着実な推進

地域で社会の生活課題に取り組む 市民・団体への積極的支援

- ①一般公募助成導入に向けた取組み
 - じぶんの町を良くする活動を支援
- ②募金運動期間拡大の積極的活用[地域
みまもり応援募金]
 - 「地域から孤立をなくそう」をテーマに
地域の生活課題解決に向けた取組みを地
域みまもり応援募金として実施。

新たな募金手法を積極的に取入 れた募金の増額

- ①新たな募金手法の開拓・普及。多くの
支援者を巻き込み新たな募金手法
の開拓を推進、募金増額を図る
 - 赤い羽根自動販売機の設置促進
 - 寄付つき商品の積極的開発
 - 赤い羽根サポーターの積極的拡大など。
- ②寄付者への分かりやすい広報活動の
推進
 - 若者向けグッズの積極的導入に向けた
検討
 - 本会及び市町村共募での広報・チラシ
の取組み強化
 - ありがとうが見える募金運動の推進

組織の透明性を確保し、組織運 営の強化を推進

- ①市町村共募との連携強化と人材養成・
育成
 - 市町村社協(共募)新任役職員に対する研
修の実施
 - 市町村共募役職員と併せた巡回訪問の
実施ほか。
- ②関連機関・団体・企業との連携強化
 - 助成団体による活動報告会の実施ほか。

現行事業の見直しを積極的に推 進

- ①地域福祉重視の共同募金に向けた検
討推進
 - 全県・地域目標額、事務経費の見直し
 - 研修体系の見直しほか。

被災地の復興支援と 大規模災害への対応

東日本大震災被災者への支援の 取組み

- 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活
動サポート募金」被災地住民支え合い
活動の助成の実施
 - 事業周知の強化ほか

大規模災害への対応・支援

- ①災害義援金の募集
- ②災害等準備金の積立及び支援制度の
実施
- ③災害見舞金の交付

広報活動の推進の取組み

- ①共同募金に関する情報の発信
 - ソーシャル・ネットワーキング・サー
ビス(SNS)を活用した情報発信ほか。
- ②報道機関・関係機関への情報提供と
広報協力
 - 各種助成情報及び本会の新たな動きを
積極的に情報発信
- ③福祉教育との連携
 - 総合的な学習に向けての情報提供
 - 学校と連携した募金活動の実施
- ④助成を受けた団体による使途明示
 - 助成を受けた施設・団体に対して共同
募金受配標識の掲示や広報紙等への記事
掲載を徹底し、寄付者への感謝を表す。

民間社会福祉資金助成事業の募 集と協力への取組み

- ①民間助成事業の実施・協力
 - (民間助成団体の社会福祉活動に対する助
成事業を周知し、審査・推薦を行う)

助成を実施するための取組み

- ①助成事業の周知及び調査
 - 施設整備費
 - 地域福祉活動事業費
 - 安全・安心の地域づくり支援事業
 - 生活課題解決支援事業(2年目)
 - 福祉のまちづくり支援事業
 - 助成事業の実地調査実施
- ②助成計画の策定及び募金目標額の設定

募金運動

- ①募金運動の実施
 - 運動開始行事の開催
 - 一般「赤い羽根」募金運動
 - 地域歳末たすけあい運動
 - 岩手県主催歳末たすけあい運動
 - 期間拡大募金運動(1月1日～3月31日)

岩手県福祉大会の実施

顕彰の実施

法人の運営



平成26年度は「あったかいわてプロジェクト」などに取り組む

〈～しあわせ運ぶお買い物～〉〈～地域みまもり応援募金～〉

新たな募金手法の 開拓を推進しました

平成26年度はアクションプランい
わてに掲げた目標達成のために、新
たなパートナー(経済界団体、企業、
NPO、スポーツチームなど)と協
働し、様々な事業に取り組みました。
「あったかいわてプロジェクト」
しあわせ運ぶお買い物」では、岩
手県庁生活協同組合「いわてけん
ちよう食堂」、ふれあいランド岩手
内の「ふれあいレストラン雲の信号」
が寄付つきランチの販売に取組み、
その寄付金は県内の災害支援や福祉
事業に活用されました。

さらに「赤い羽根自動販売機」の
設置促進、プロバスケットボール
チーム「岩手ビッグブルズ」の勝利
募金、企業・団体に共同募金を理解
してもらう「あったかいわて異業種
交流会」等、様々な募金手法の開拓
に取組みました。

加えて共同募金の期間延長を受け
て、地域で孤立をなくす活動を支援
する「あったかいわてプロジェクト
」地域みまもり応援募金」を実施
しました。寄付者が寄付先を選択し、
募金する「みまもり応援募金」は、
地域課題解決に取り組む9団体(NP
O、社協など)の活動に役立てられ
ました。



「あったかいわてプロジェクト
～しあわせ運ぶお買い物～」。
上は岩手県庁生活協同組合「い
わてけんちよう食堂」、下はふ
れあいランド岩手内「ふれあい
レストラン雲の信号」